

地域課題一覧

No.	地 域 課 題
①	<p>おしらせの紙を管理したい！</p> <p>学校、保育園、町会、その他様々な機関からのおたよりについて、種類や量が多く管理が大変です。それら全てをすぐにネット配信に移行するのは、現実的に難しいと思います。書類の管理の手間が省けるようにいろいろな様式の書類を一元管理ができるアプリがほしい。</p>
②	<p>金沢市地域包括支援センターのエリア検索を簡単に！</p> <p>市内に19か所とランチ2か所ある金沢市地域包括支援センターは住所地によって担当エリアが決まっているが、校区ベースに割り当てているため市民目線からは、ある地域の担当地域包括支援センターがどこなのかわかりにくい。調べたい住所を入力したら担当地域包括支援センターがわかる検索機能がほしい。</p>
③	<p>工事情報を知って渋滞を避けたい！</p> <p>通勤時のいつもの道がまさかの渋滞。想定を超えた時間がかかってしまう。あらかじめ工事情報がわかれば別ルートからも行けるはず！</p>
④	<p>避難所の「避難者カード」を電子化したい！</p> <p>災害が発生した際、避難所に来られた方には紙に印刷された「避難者カード」を記入頂き、そのカードによって人数の把握やその他、例えば「既往歴」や「妊娠をされている」などの情報を把握し、避難所運営に役立てる計画にしている。しかし、最終的な集計に時間がかかるほか、混乱した受付の状況で正確な記入ができるかどうかの問題として生じる可能性がある。そのため、電子データで保持し運用できる仕組みにしたい。</p>
⑤	<p>公共交通機関の混雑具合を知りたい！</p> <p>公共交通機関の混雑具合を知って、コロナ禍でもある程度安心して出掛けたい。</p>
⑥	<p>地域の見守り活動で使用する紙の地図や記録票を電子化したい！</p> <p>民生委員・まちぐるみ福祉活動推進員による地域の見守り活動において、紙媒体の地図・記録票を用いていることから、情報共有・更新に関する不便さの声が挙がっている。</p> <p>例えば情報共有を図る場合、紙の地図のコピーが必要であることや、対象者の情報更新時に情報の印であるシールを剥がしたり、塗りつぶす等の手間が生じていることが挙げられる。紙媒体のため、共有方法の不便さと随時更新の難しさが主要な困り感につながっている。</p> <p>また、地域防災の観点では、災害時避難行動要支援者マップを有効活用させることも課題である。現状は民生委員と町会長や防災士等が紙の地図を共有しているが、町会長が定期的に変わる状況を鑑みても、更新時の手間があることや非常時に確認したい場合の確実性が担保できない等、有用性に疑問が生じている。こうした背景から、見守り活動のさらなる効率化と、避難行動要支援者マップの利便性向上が課題となっており、両課題解決にあたり、地域にまつわる各種情報を地図上に電子データとして記録・共有できるアプリの開発を求めている。民生委員や町会長等のユーザー間で記録・共有できるようなサービスを希望する。</p>
⑦	<p>コロナ禍で生まれた新しい生活様式のもと、地域のつながりの希薄化を防ぎたい！！</p> <p>感染症が拡大した場合でも、安心して実施できる町会活動の提案及び機会の提供等 ※金沢市ではすでに電子回覧板アプリや町会HPを導入する際の費用の補助は行っています。</p>
⑧	<p>経済活動を復活させたい！</p> <p>「ウィズコロナ」の時代における、「新しい生活様式」に基づいた商業活動を市内の宿泊業や飲食業、商店街などに浸透させ、安心して宿泊や買い物等ができるようにしたい。</p>